

○ 全国と比較して、5.0ポイントより上回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(7)	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	「きちんと守っている」と回答した児童の割合	46.8	39.4	7.4
(61)	英語の勉強は好きですか	「当てはまる」と回答した児童の割合	44.1	38.2	5.9

○ 全国と比較して、3.0ポイントより上回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(11)	将来の夢や目標を持っていますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	65.1	60.6	4.5
(16)	学校に行くのは楽しいと思いますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	51.2	47.2	4.0
(36)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	51.3	47.3	4.0

○ 全国と比較して、3.0ポイントより下回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(1)	朝食を毎日食べていますか	「している」と回答した児童の割合	79.6	83.4	-3.8
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	「している」と回答した児童の割合	35.9	39.7	-3.8
(14)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	26.9	30.2	-3.3
(30)	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	「当てはまる」と回答した児童の割合	26.1	29.5	-3.4
(31)	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	「当てはまる」と回答した児童の割合	26.4	29.7	-3.3
(48)	国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	32.9	37.1	-4.2

○ 全国と比較して、5.0ポイントより下回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
	該当なし				

○ 考察と今後の方向性について

設問番号	考察と今後の方向性
(7)	「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」の問いに、「きちんと守っている」と答えた児童は、本市46.8%（全国39.4%、愛媛県43.7%）となっており、高い肯定率が見られます。これは、市全体で取り組んでいる、スマホ安全教室やスマホの使い方に関する話し合い活動の成果だと言えます。今後も学級活動や参観日等の機会を通じて、規則正しい生活やきまりを守ることの重要性を児童・保護者共に伝えていきたいと考えています。
(11) (16)	「将来の夢や目標を持っていますか」や「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに、前回に引き続き全国及び県平均と比べて高い肯定率が見られます。教師が、児童の良い行いを認め賞賛したり、子どもたちの主体性を尊重した教育活動を展開したりすることで、児童の自己肯定感を育む取組が行われている成果だと考えられます。また、本市独自の「今治モデル『ふるさとキャリア教育』」を積極的に進めることで、自分の将来を見通す力や自立心が育っており、今後のキャリア教育につながっていくことが期待できると考えられます。
(36)	「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」の問いに、「当てはまる」と答えた児童は、本市51.3%（全国47.3%、愛媛県50.0%）とやや高い数値を示しています。教師と児童のよい人間関係づくりや個に応じた細やかな指導の成果が少しずつ現れてきているものと考えます。今後は、放課後チャレンジ事業等の施策を拡充するなどして、誰一人取り残すことのない学びの実現に向けて、児童に寄り添った指導を継続していきたいと考えています。
(1) (2)	「朝食を毎日食べていますか」や「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の問いに、全国及び県平均と比べて低い数値を示しています。基本的な生活習慣は、学習をはじめ全ての教育活動の基盤となるため、子どもへの指導だけでなく、個人懇談や参観日等の機会を活用して、家庭の理解と協力を得る必要があると考えています。
(21)	「学校の授業時間以外に、平日1日1時間以上勉強をしている」と答えた児童は、本市50.8%（全国54.6%、愛媛県60.1%）となっており、低い数値を示しています。適切な宿題の提示やタブレットの持ち帰り等を推奨し、今後一層、家庭学習の確立を図る必要があると考えています。
(44) (52)	「国語の授業の内容はよく分かりますか」や「算数の授業の内容はよく分かりますか」の問いに、全国及び県平均と比べてやや低い数値を示しています。学力向上推進主任会等の機会を活用し、各校の良策等を共有するなどして、更に授業改善を推奨していきます。今後は、伝統ある愛媛教育のよさとこれから築き上げていく適切なICTによる教育を効果的に組み合わせることで、より質の高い授業改善に取り組んでいきたいと考えています。
(48)	「国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか」の問いに、「当てはまる」と答えた児童は、本市32.9%（全国37.1%、愛媛県33.6%）となっており、低い数値を示しています。今後は、自分の考えを記述したり、説明したりすることができる表現力の育成を推進する活動を取り入れた授業改善が必要であると考えています。